

新年、明けましておめでとうございます。

皆様におかれましては、今年のお正月は、例年と違った特別な過ごし方をされていることと存じますが、すこやかに新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。

昨年から様々な行事や活動が中止され、ご迷惑やご不便をかけているにもかかわらず、法人運営にご理解とご支援をいただいておりますこと、心より御礼を申し上げます。

さて、新型コロナウイルス感染症につきましては、昨年1月に最初の患者が確認されてから4月には緊急事態宣言が発せられ終息の傾向にあったものの、8月には第2波にみまわれ、現在では第3波が続いている状況にあります。

法人の各施設では、集団発生を絶対起こしてはならないことから、「施設に持ち込まない」ことを念頭に、施設内の徹底した消毒や換気、加湿、検温やマスクの着用、施設外活動の自粛を行っているところであります。更には、保護者及び利用者の皆様に帰省や面会の自粛をお願いするなど、感染防止対策にご協力をいただいておりますことに心より感謝申し上げます。

この様な状況であっても利用者の皆様方には、施設外で活動できない分、色々なイベントを施設内で企画し、少しでも楽しい気持ちになってもらえるよう活動しており、皆さんはとても元気で活発に過ごしておられます。

また、待ち望んでいた2棟目のグループホーム花笑をつつじが丘に開設することができ、つわぶき授産工場の施設もリニューアルすることができました。

本年も保護者の皆様方の信頼に応えられるよう、利用者の皆様が安全に安心して施設を利用していただくために、施設の安全の確保や支援技術の向上に努め、支援信条を重んじ、サービスの質の向上に取り組んでまいります。

更に、社会福祉法人として地域福祉の向上のみならず地域の活性化に貢献できるよう、めまぐるしく変化する社会・経済の中で我々がすべきことを見定め、有意義な事業活動を展開してまいり所存でございます。

新しい年を迎えて、気持ちも新たに、より一層、知恵を出し汗を流し、障害者本人、支える家族、職員がともに幸せになれる社会をめざし、強い団結力を持ち「子を思う親の心」を胸に精進してまいりますので、皆様方の更なるご支援ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

結びに、世界中で新型コロナウイルス感染症のワクチン開発が進み、終息への希望が見えてまいりました。この1年が皆様方にとって輝かしい年となりますよう心からお祈り申し上げ、年頭のご挨拶とさせていただきます。

社会福祉法人つわぶき会・哲人会
理事長 岩橋秀樹